

は、新たな取り組みとして、東京英語村 Tokyo Global Gateway（お台場）でのグループワークと、フィリピンセブ島オンラインで繰り返しロジカルスピーキングを学ぶ国内グローバル体験プログラム（8月10～17日）を提供し、10名の学生が参加しました。



小森 亘（歯学部2年）

今回、私が夏休みの期間にTGGへ参加しようと思った理由は、これからグローバル化していく社会にはロジカルスピーキングは、一旦自分が伝えたいことの優先順位を決めて話すことにより、相手に自分は何を最も伝えたいのかということを効率的に伝えることができます。

今回のTGGでは、二つのことを経験することになりました。一つは、定められた話題について議論する純粋なロジカルスピーキングの力を鍛えることです。この経験により、最も伝えたい内容を、頭の中で一回英単語と順序立てておきことで、議論をまとめることの大切さを経験することです。この経験により、最も伝えたい内容を、頭の中で一回英単語と順序立てておきことで、議論を滞ることなく行え

ます。この2つは、定められたシチュエーションの中でしっかりと対応できるようなロジカルスピーキングの力を鍛えるというものです。この2つは、自分の意見や考え方を相手に伝えるための技術を鍛えることができました。

私はこのプログラムを通して、通常の授業では体験できないような経験をすることができたので、有意義な夏休みを過ごすことができました。

戸田 成美 (保健医療学部 作業療法学科2年)

私は将来国境を越えて仕事がしたいから、今回のTGG国内グローバル体験研修に参加しました。

ロジカルスピーキングレベルでは、主張だけではなく根拠も述べなければならぬため、英語の論述力を見直す機会を得ました。

ロジカルスピーキングは、自分自身の意見をまとめることが多いです。この経験により、最も伝えたい内容を、頭の中で一回英単語と順序立てておきことで、議論を滞ることなく行え

学生研修報告

Tokyo Global Gateway 国内グローバル体験プログラム

国際交流センターでは、新たな取り組みとして、東京英語村 Tokyo Global Gateway（お台場）でのグループワークと、フィリピンセブ島オンラインで繰り返しロジカルスピーキングを学ぶ国内グローバル体験プログラム（8月10～17日）を提供し、10名の学生が参加しました。

身近なものでしたが、中には日本語でも伝えることが難しかるものもありました。議論のテーマは将来、現在多くの場面で意見を求められると思いました。その中で「論理的に伝える」ということが大切で、私自身の今後

の学びにおいて必要な学びにおいて必要だと思いました。そのためには自分の知識、語彙などを磨く必要があります。

さらにその知識などを用いてディベートなどをを行うといったコミュニケーション能力の向上もできた

また、オンラインでも英語を学ぶことは十分にできることを実感しました。私は、英語力の向上には対面の英会話が一

般の理解を深めるとともに、骨への力学的負荷の減少に伴う骨密度の低下(骨粗鬆症など)の原因究明に役立つ生体用遠心装置や微小重力環境下で飼育したメダカ稚魚における骨形成変化の解析」が日本宇宙生物学の解説)が日本宇宙生物学会発行の国際誌[Biological Sciences in Space]に掲載された。

高橋さんは歯学研究科のマルチ・ドクター・プログラムを履修し、歯学部歯科薬理学講座・歯科薬理学研究センターの茶谷昌宏講師(専門・宇宙医学)の指導のもとで約2年半に渡って研究を進め、第一著者として本論文を発表した。

本論文は、骨や歯などの硬組織形成において重力が横塚紳之介さん(医学部6年)の英語症例報告「A case of epithelioid cell granuloma arising at the margin of lung resection, with high accumulation on 18F-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography (18F-FDG-PET)で高集積を示した肺切除断端に発生した類上皮肉芽腫」が呼吸器系国際誌[Respirology Case Report]に掲載された。

横塚さんは昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター(呼吸器外科)の植松秀護講師の指導の下、2020年12月に医学部5年次のクリニカルクラークシップ(診療参加型臨床実習)を行った。その際の症例をまとめ、第一著者として本論文を発表した。また論文掲載に先立ち、第185回日本胸部外科学会関東甲信越地方会で発表され、奨励賞を受賞した。

横塚紳之介さんのコメント

このたび、昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター(呼吸器外科)での実習をきっかけに、日本胸部外科学会関東甲信越地方会で奨励賞を

うな、英語を自宅でも学ぶことができる機会を持てたことに感謝いたします。このよ

うな行動次第ではオンラインのようにそれ以外でも十分に学ぶことはできると思いました。今回、このよ

うな、英語を自宅でも学ぶ

番だと思います。しかし、

自分の行動次第ではオンライン

で意見を求められると思いま

す。その中で「論理的に伝

える」ということが大切で

あります。その中で「論理的に伝

える」ということが大切で